

2016 動物感謝デー in JAPAN “World Veterinary Day” イベント関連事業内容企画にあたっての主な留意点

平成 28 年 4 月

公益社団法人 日本獣医師会

動物感謝デー事務局

以下に、応募要領記載事項等に係る留意点を掲載いたします。この内容にご留意いただいた上で、企画案の作成をお願いいたします。

- 1 事業において実施する市民参加型イベントの名称は「2016 動物感謝デー in JAPAN “World Veterinary Day”」とする。ただし、表示等で「World Veterinary Day」を単独で用いる場合は、定冠詞をつけ、「The World Veterinary Day」とする。
- 3 会場は西日本総合展示場新館ホールB及びあさの汐風公園、開催日は平成28年11月12日(土)とする。
- 4 会場設営は、開催前日の11月11日午後10時から翌朝7時までとする。
- 5 同時開催の北九州市どうぶつ愛護フェスティバルと共催・連携するため、関係各所との連絡調整及び会議へのオブザーバー出席を行い、今後決定する事項に従うこと。
- 6 協賛確保、会場施工、備品リースをはじめとする関係業者について、本会が相手先を指定する場合は従うこと。
- 7 出展企画やステージ企画について、本会が今後指示するものについてはすべて実施すること。
- 8 イベントの広報と趣旨の普及・啓発のため、最低限以下の制作物を作成すること。数量等は本会が今後定める。
 - ①イベントポスター ②イベントチラシ (①、②は関係者及び周辺自治体配布分を確保)
 - ③イベントプログラム ④獣医師の仕事を一般に普及・啓発するための小冊子
 - ⑤スタッフジャンパー (ビニル素材は不可。袖無しタイプ。)
 - ⑥イベントホームページ ⑦会場内掲出用イベント告知のぼり

9 企画にあたり、以下の点を考慮すること。

- (1) 企画内容は、本会活動指針「人と動物の健康は一つ。そして、それは地球の願い」に沿った企画内容とし、子供・ファミリー向け企画を含む。
- (2) 雨天時の対応を考慮する。(特にあさの汐風公園)
- (3) 来場者による獣医師体験及び獣医師の幅広い職域を紹介するステージ企画は実施する。
- (4) 展示ブース数は、100小間程度を確保する。
- (5) 関連団体の出展の場を確保する。
- (6) 獣医学系大学の出展の場を確保し、国内の獣医学系大学が一堂に会する場としての価値をPRできるように、演出・広報対策等に配慮する。(教育関連産業における広報対策や中学・高校生向けの特別チラシ配布等)
- (7) 地方獣医師会の出展の場を確保する。
- (8) 関連団体、獣医学系大学、地方獣医師会の出展については、展示物の運搬やブース内の施工、水、電力・ガスの供給、食品の保管対策等は主催者側が対応する。
- (9) 地方の特産品(乳製品含む)の販売・頒布、食品の販売・頒布が可能な設定とする。
- (10) 一日獣医師体験教室、日本獣医学生協会企画等に用いる来場者向け景品(2,000個程度)を用意する。
- (11) 生きた動物と触れ合える企画に際しては、動物愛護・動物福祉の観点から適切な展示方法をとる。
- (12) 屋内に、照明、音響、スライド及び動画投影用スクリーン装置を備えたステージ(幅20メートル×奥行8メートル以上)を設置し、ステージ前に300席以上の客席を設置する。
- (12) 馬が活動できるスペース(40メートル四方程度)及び動物ふれあいコーナー(20メートル×15メートル)、犬による競技等の実演が可能なアトラクションスペース(30メートル×10メートル)を会場に確保する。(動物関連団体の出展等に使用)
- (13) 報告書の作成様式は、公表しているイベント自体の内容等に加え、施工、スタッフ配置、物品等の状況を含む詳細なものとする。
- (14) 今後の企画検討段階における新提案に対応可能な開催計画とする。